

【研究概要】

テセントリク+アバスチン併用療法による治療を行う進行肝細胞癌患者を対象に、薬剤投与開始後1ヶ月あるいは3ヶ月ごとに血液 data 及び、画像診断による抗腫瘍効果と治療効果の判定を行い、奏効率、奏功期間、無増悪生存期間を評価する。有害事象の発生率の評価も行う。また、有害事象発症予測、治療効果判定のバイオマーカーの可能性について評価する。